

# 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会 に向けた日本文化の発信について

【担当省庁：内閣官房、文部科学省、文化庁】

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催による盛り上がり  
が全国各地に波及するとともに、一過性に終わることのないよ  
う、以下の措置を講じていただきたい。

文化庁の「国際文化芸術発信拠点形成事業」や「文化芸術創造拠  
点形成事業」の予算を確保し、「京都文化カプロジェクト2016-  
2020」をはじめ、地域の文化資源の活用等による日本文化の発信事  
業を採択していただきたい。

京 都 府 の 担 当 課	文化スポーツ部 文化政策課 (075-414-4217) 文化芸術振興課 (075-414-4219)
	文化交流事業課 (075-414-4279)
	商工労働観光部 染織・工芸課 教育委員会 文化財保護課

## <文化庁の概算要求>

- 国際文化芸術発信拠点形成事業 2,611百万円（新規）
  - ▶ 2020東京大会とその後を見据え、芸術祭や地方の行事をコアとした文化芸術事業を充  
実・発展させ、世界にアピールできる我が国を代表する国際文化芸術発信拠点を形成  
する取組を支援。
- 文化芸術創造拠点形成事業 2,570百万円（継続）
  - ▶ 2020東京大会とその後を見据え、地方公共団体が主体となって取り組む文化芸術事業  
を支援することにより、地方公共団体の文化事業の企画・実施能力を全国規模で向上  
するとともに、地域の活性化に寄与。

## <京都府の取組>

- 平成28年度から実施してきた、地域の文化資源のリサーチを主とした短期のアーティスト  
・イン・レジデンス事業等の成果を活用し、平成30年度以降に、海・森・お茶の京都等  
の取組と連携した、府内の各地域の文化資源を活用した地域発信型の国際的な芸術祭を開  
催
- 京都アート&クラフト創造発信事業  
多くの芸術系大学を有し、多くの芸術家の卵を輩出する京都から、障害のある方の芸術  
作品を含む多種多様なアート作品を展示・販売する「京都アートフェア」を開催  
若手芸術家等の活動を支援するとともに、京都にアート市場を創出するなど、京都を  
アート創造の地として世界へ発信。

## ■京都文化カプロジェクトの概要

「京都文化カプロジェクト」は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を  
契機に、京都を舞台に行われる文化と芸術の祭典。2020年に向けて、京都から多彩な文  
化・芸術を世界に発信するとともに、国内外の人々と交流・協働し、新たな創造の潮流を  
起こす。

これまで、千玄室氏（茶道裏千家前家元）をはじめとする5名の文化人の呼びかけを受  
け、平成26年10月にオール京都の推進委員会を立ち上げ、平成28年3月に基本構想を策  
定。5月には実施に向け、実行委員会を設立。

共同代表理事： 山田知事、門川市長、立石 商工会議所連合会長／京都 商工会議所会頭 理事：文化等の有識者12名 顧問：長尾真京都府公立大学法 人理事長 総合監修者：山極京都大学総長	スケジュール	2017年度	パフォーマンス(舞台芸術)
		2018年度	アート&クラフト(美術・工芸)
		2019年度	くらしの文化
		2020年度	あらゆる分野を融合した 総合的な祭典
	経過	26年 8月	文化的リーダーから「京都文化フェア」 の呼びかけ
		10月	「京都文化フェア呼びかけ」に基づく推進 委員会設立
		28年 3月	京都文化カプロジェクト基本構想策定
		5月	京都文化カプロジェクト実行委員会設立
		6月～	実施計画検討
		10月～	実施計画策定
		10月～	スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 開催（キックオフ事業） 京都文化カプロジェクト事業実施